

セメント防水剤

ストロング

特 長

1 水の浸透を抑制するため、鉄筋の腐食を防止してコンクリートの寿命を延ばします。

2 遊離石灰と反応するため、白華を減少させる効果があります。

3 アスファルト防水層のように表面を被覆保護する必要がありません。

4 モルタルの塗り重ねができ、一部毀損の場合も補修が容易です。



用 途

基礎工事、地下室工事、地下道工事、プール工事などコンクリートやモルタルの簡易防水

荷 姿

1 ℓ ポリ容器（1 ケース20本入り）



関西パテ化工株式会社

施工方法

●モルタル施工法

1. 下地の準備

予め脆弱層は除去して、下地の埃や汚れなどをよく清掃し、十分に水湿ししてください。

2. 第1層

乾かないうちに、セメントノロを刷毛引きしてください。

3. 第2層

追いかけて右記配合のストロング混入モルタルを塗り重ねてください。

必要に応じてストロング混入モルタルを塗り重ねてください。

4. 仕上げ

水引き加減を見計らい、金ゴテでムラのないように仕上げてください。

ストロング混入モルタル10㎡(10mm厚)に要する材料

ストロング10倍希釈液の場合				
配合比	セメント(kg)	砂(ℓ)	ストロング(ℓ)	水
1:2モルタル	64	84	3.5	31.5
1:3モルタル	48	92	3.0	27.0

ストロング混入モルタル1㎡に要する材料

ストロング10倍希釈液の場合				
配合比	セメント(kg)	砂(ℓ)	ストロング(ℓ)	水
1:2モルタル	640	840	35	315
1:3モルタル	480	920	30	270

●コンクリート施工法(プール、水槽、地下室等)

1. 材料練り / 15~30倍希釈液を練り水として使用してください。

2. 打込み準備 / 仮枠は、水洗いし、充分湿らせる。打込み箇所にたまった水は、排除する。

3. 打込み / 材料がもれたり、分離したりしないようにしてすみやかに運び打込みを行う。

試験結果：JIS A1404-1977「建築用セメント防水剤」

試験項目			試験結果
凝結試験	始発時間	時一分	4—20
	終結時間	時一分	6—45
安定性試験	外観		良
強さ試験	曲げ強さ比(%)		114
	圧縮強さ比(%)		105
吸水試験	吸水比	1時間後	0.31
		5時間後	0.28
		24時間後	0.29
透水試験	透水比		0.14

⚠ 注意事項

- ストロングは水で希釈してから投入してください。
- 耐寒剤との併用はできますが、ストロングを水で希釈してから耐寒剤を混ぜてください。
- ストロングコンクリートは練り置きしないでください。
- 夏期における太陽の直射には注意してください。
- 打込み中、打込み後1週間位は、水圧を加えないでください。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 吸入した場合、気分の悪くなった時は、患者を新鮮な空気のある場所に移し、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、異常を感じる場合は医療機関で手当を受けてください。
- 皮膚に付いた場合は、石鹼水等で洗い出してください。
- 残材、洗い水等は河川、池、湖、下水、地下水などを汚染する場所には捨てないでください。
- 容器等の処理は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。

